

## 第10回（平成28年度）栃木県元気な農業コンクールいきいき農村部門受賞者紹介

### ☆ 農村環境保全向上の部

#### (1) 審査経過

農村環境保全向上の部には8事例の応募があり、いずれも、農業者をはじめ、多様な主体の参画と地域性を生かした様々な活動に取り組んでおり、応募者の熱意が感じられるものでした。

審査は「体制の充実」、「創意工夫と自立性」、「環境保全や農業振興への寄与」、「多面的効果の発信・活用」の4つの基準にもとづいて行い、書類選考及び現地調査を経て、各賞を選出いたしました。

#### (2) 受賞組織の概要

##### ● とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）

###### 板荷畑いつくし美会（鹿沼市）

地域住民全員を構成員とし、活動開始直後のアンケート結果に基づき順位付けされた地域の課題解決に向けた活動に取り組んでいます。

具体的には、地域ぐるみの獣害対策やそばの作付けによる遊休農地の発生防止と景観美化、和牛の放牧による遊休農地の解消、豪雨災害後の水利施設等の復旧、子どもたちとの生きもの調査と生きものマップの作成、そば祭りによる地域交流等、多様な活動に取り組んでいます。

若い世代が活動を牽引し、地域課題の解決を積み重ねることで活動に対する期待や意欲が高まるなど地域全体が活性化しており、中山間地域における元気創出のモデル的な活動であることから、とちぎ元気大賞に選出いたしました。



獣害防止柵設置に向けた調査



豪雨災害後の水路復旧

##### ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

###### アグリネット西下ヶ橋（宇都宮市）

地元の農業者や住民を中心としたメンバーが、NPO法人や教育機関、企業、行政機関等と連携しながら農村環境保全活動に取り組んでいます。

水路や農道等のクリーン活動やフクロウの巣箱設置、魚類の産卵床設置等の生態系保全活動の他、都市部の親子を対象として農業や農村環境、伝統行事等を体験・学習できる「チャレンジ自然 in かわち」を農村女性団体と連携して実施し、農業・農村の良さを積極的にPRしています。

充実した活動体制による先駆的な取組は、参加者の高い環境保全意識の醸成に繋がる県内トップレベルの活動であり、今後も県内の農村環境保全活動の牽引役となることが期待されることから、とちぎ元気賞に選出いたしました。



都市部親子による田植え



高校生の指導による生きもの調査

## ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

### みたとうぶ保全会（小山市）

平成26年に、17の活動組織を統合し、事業、研修、環境及び広報の4つの部会によって、幅広い農村環境保全活動に取り組んでいます。

農道や遊休農地へのひまわりやコスモスの植栽、子どもたちとの生きもの調査及び生きものマップの作成、生きものに優しい水路や水田魚道の設置など、生態系に配慮した様々な取組は、農村環境の保全や住民の意識向上に大きく寄与しています。

これまでの17の活動組織ごとの活動に加え、広域での熱心な活動によって、農村環境保全活動への気運が高まっており、今後も新たな活動への発展が期待されることから、とちぎ元気賞に選出いたしました。



生きものに優しい水路



コスモスの植栽

## ● 特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）

### 青木一区農地水環境保全対策委員会（那須塩原市）

地域全体で農村環境保全活動に取り組んでおり、中でも、子どもたちとの生きもの調査や地元小学校等と連携した「田んぼの学校」による親子での田植え・稲刈り体験、老人会による地元の農業や生活・文化を語り継ぐ「昔話の会」など、次世代を担う子どもたちの育成に力を入れています。

また、地域のシンボルである緯線と経線の交差点「ゼロポイント」にビオトープや花壇を設置し、憩いと学習の場として保全しています。

「田んぼの学校」等の活動をとおして、農業体験や環境学習等の機会を提供する活動を高く評価いたしました。



田んぼの学校(田植え)



ゼロポイントでの植栽活動

## ● 特別賞（下野新聞社長賞）

### 那須田中環境保全ネットワーク（那須町）

地域全体で農村環境保全活動に取り組んでおり、中でも、ホタルの保全活動や子どもたちとの生きもの調査、ヤマメの放流等の取り組みは、豊かな生態系の保全と併せ、子どもたちの環境への関心を高めることにも繋がっています。

また、毎年2月に神楽舞の奉納と門付けを行い、地域の伝統芸能「時庭の獅子舞」を保全しています。

ホタルやヤマメ等の豊かな生態系や伝統芸能の保全など地域性を生かした活動を高く評価いたしました。



ヤマメの放流



時庭の獅子舞の保全